

「新しい総合計画（素案）に関する説明会」結果

市町村名	名張市	開催場所	桔梗が丘公民館
開催日	10月4日（土）	開催時間	19：30～21：20 （1時間50分）
参加者数	30名		
説明者	名張市長、企画財政部長、 秘書室長、企画財政政策室長 総合企画室長 他	【備考】	

1．開会（司会）【19：30】

2．あいさつ

・ 地区代表区長幹事

・ 市長【19：35～19：45】

3．出席者紹介（司会）

4．事項

・ 総合計画素案の概要説明（家里部長）【19：50～20：15】

・ 質疑【20：15～21：20】

Q（参加者）財政的に厳しい中、収入面についてあまり触れていない。若年層の定着し、働ける場所、産業の誘致などの施策を。

A（市長）計画の実施にあつたて財政的な問題は最も重要ですので、中期の見通しをきちんとしていきたいと考えています。以前は市役所だけで出した推計をもとにしていましたが、今後は専門の方にも入っていただき、経済の動向も見極めた計画を立てていきたいと思ひます。

名張市は人口3万から8万5千人の都市になりましたが、振興住宅地の宿命として、同世代の方が入居され、一度に退職され税収が減るという問題を抱えています。

昨年99億あつた税収も今年93億ぐらいです。補助金のカット、職員の給与カット、病院健全化計画、ハード事業凍結などの財政健全化により約13億の支出を削減しました。

名張は土地が高く、産業誘致は非常に困難です。総合計画では名張の暮らしやすさを特化していきたいと考えています。また福祉、医療、教育、情報などの分野の雇用が増えており、二次産業では名張に住み、上野や伊賀町に通勤する人が増えていますので、そういった点を強化していきたく考えます。

Q（参加者）基本構想、基本計画、実施計画と名張市の将来像として内容は結構。しかし、こういった計画は財政的な裏付があつてはじめて実施できる。実施計画は3年単位で

策定、行政の評価をし、その評価に基づいて改めて計画を立てるといったことのようにだが、3年後の名張市としての財政見通しを現時点でどう考えているのか。

A(市長) 今までのようにできなかったことをローリングしていくというやり方ではなく、かなりシビアにあれかこれかの選択をし、3年間で決められたことを必ずやりぬく気持ちでやっていきます。その中で中期見通しは5年間ぐらいで立てています。先ほども言いましたが、以前は市の職員だけで見通しを立てていましたが、経済の動向を読むのが難しく、これからは専門家にも入っていただき、シビアに計画を立てていきたいと思っています。

Q(参加者) 毎朝、桔梗南小学校の裏から山の中を通り、東山墓園をまわって帰ってくるが、不法投棄が多い。モーターボート、冷蔵庫、洗濯機などが捨てられており、左官業の車を見かける。また墓石が捨てられてあり、期限を決めて撤去する旨の文書が貼られているが、期限が過ぎているにもかかわらず撤去されていない。

資源ごみの回収について、場所がなく道路にかごを設置しているが、その横で街路樹の根がはって歩道が非常に危険な状態になっている。

東山墓園の斜面のフェンスが破れている。

水と緑について書かれていることは非常によいと思うが、こういったことについてどう考えているのか。

A(市長) 不法投棄については、県と県警と市町村で連携する体制をとっていますので、早速対応したいと思います。墓石は適当に処分するわけにもいかず、安置する場所を探しています。

資源ごみの回収についてはご迷惑をおかけしていますが、これからも名張市はごみできるだけ出さないゼロミッションの方向で進めていきますのでよろしくお願いします。街路樹については、年次計画を立てて実施していますが追いつかない状況です。

Q(参加者) 市が財政難であることはよくわかっている。街路樹を住民で切ってもよいかどうかといったことも将来的に考えていただきたい。

A(市長) 鴻之台地区ではそういったこともしていただいています。

危険な個所は対応していきたいと思います。

Q(参加者) 街路樹のことは昨年度6年計画でお話いただいたので、だいたい把握できているが、歩道整備の情報はなかなかいただけない。住民への説明にもなるので、今後の予定を教えてください。

公民館の自主運営と言いながら、いろんな制約がある。例えば、運営管理については公民館長が一番よくわかっているはずだが、地域で運営協議会をつくった場合、公民館長は市の嘱託職員であるため、会長に就任できない。

公民館の改修予定を教えてください。地域で公民館職員を雇った場合、現状の建物ではやりにくい。前のフロアを改修してサロン風にしたいと考えている。ハード面はあくまでも市との協働ということで、財政的な援助をいただかないと改修もできない。

桔梗が丘地区ではマスタープランの素案が出来上がっており、来年4月の総会で

成案にしていく予定。そのプランにも入っているが、中学校の校区の問題がある。桔梗南小学校は現在北中に行っているが、北中と桔中の生徒数のバランスが悪くなっており、校区の見直しについても検討いただきたい。

A（市長） 整理して、区長さんにお伝えします。

運営管理については、管理責任は公設民営ですので名張市にあります。運営部分だけをもっと弾力を持たせた運営ができるようお願いしているところです。他の先進地を見ても特に問題はないようですので、難しい問題が出てきたら対策を講じていきたいと思います。公民館改修は年次的にやっていく方向です。改修とまではいかななくてもサロン風に衝立をおくなど、公民館をおまかせするまでに最低限の整備をさせていただきたいと思いますので、ご相談ください。

現在のところ、具体的に委員会の立ち上げなどはしていませんが、今後の重要な課題であると考えています。

Q（参加者） 14 ページ、横断的に取り組む7つの政策について、優先順位をつけるとすればどうなるか。健康長寿社会の創造、子育て支援・青少年健全育成のどちらに重点を置いていくのか？

住民主体まちづくりをしていくためには、住民の質が重要になってくる。教育内容の充実やゆとりある教育環境の整備などがあげられているが、今の教育は、権利は主張するが義務を教えることが少なく、公共心が薄れているのではないかとされている。まちづくりをしていくためには、一人一人が公の部分に義務感を持っていかなければならない。教育の充実を図るという中に、公共心を教えるという考えは入っているのか？

A（市長） どちらもやっていきたいと考えています。どちらも地域福祉計画の目玉です。健康長寿社会の創造は、介護予防、病気予防により進めていきたいと思います。介護予防は国としても重点的に進めており、2年の計画の中に入れていけるよう体制を整えたいと考えています。

子育て支援については、名張は産んで育てるのによいまちと言われるよう環境整備をしていきたいと考えていますが、今まで4つあった産婦人科が2つになってしまい、産むと言う段階に大きな問題を抱えてしまいました。議会でもこの問題が取り上げられ、何とか市立病院に産婦人科をつくるようにとのことですが、病床数を増やすことはできず、入り口で大きな課題を抱えています。

また、待機児童については、これまで年間20~30人ぐらいでしたが、今の時点で70~80人に上っています。毎年4月1日時点で0にしていますが、そのためには今までにはなかったようないろいろな判断をしていかなければならず、その仕組みをつくっているところです。

名張は経営資源としての人材が他市になく豊富です。さまざまな分野で達人がおられ、まちづくりにぜひ協力いただきたいと考え、そのための仕組みをつくっているところです。ひとつは地域づくり委員会、ひとつは市民活動支援センターです。市民活動支援センターを窓口、どんな活動をしている団体が、どのくらいあるかということ把握しPRしていくような仕組みを考えています。

若者の公共心の問題については、かねてから教育委員会にもお願いしています。

Q (参加者) われわれは「名張は非常に住みやすいまち」と喜んでいるが、人口は足踏み状態である。もう少し若者が名張に残るか、他の地域から若者が入ってくるような商業施設、用途地域の見直しなどが必要ではないか。商業者、若者が集まれば税収増にもつながる。名張は合併せず一本立ちするのだから、大型商業施設の整備に力を入れるべきでは。

A (市長) 大型店の売り場面積は津市より名張市の方が大きく、そういう意味ではかなり集積が図られているのではないかと思います。現在、中央西の整備をしており、17年度に換地を終える予定です。その中には商業用途の部分もあり、市としても努力していきたいと思っています。合併についても触れていただきましたが、6割のかたが住民投票に参加いただき、そのうちの7割のかたが厳しくても単独の道を選択されました。これは名張に対する愛着、誇りの現れであり、これを裏切らないような名張市にしていかなければならないと思っています。

A (部長) 皆さんから財政の活性化策などについてご質問いただきましたが、今までにないデフレと不況がダブルでやってきた状況の中で、今年は昨年に比べ税収が6億5千万減っています。これは名張市はじまって以来のことであり、これをどのように克服するかということで、いろいろと苦労しています。例えば、滝之原工業団地は30億の資産が眠っているわけですが、今の適正価格にすると3分の1ぐらい、3分の1にしても売却できない状況です。昨年、滝之原工業団地に来ていただければ、土地代を半分にするという他市にはない優遇税制を認めていただきましたが、どこの企業からも問い合わせはありませんでした。工場の誘致は非常に難しい状況ですので、製造メーカーにとらわれず、他の福祉、医療などの関連分野での雇用の発生などの面も視野に入れています。また、滝之原工業団地では「売る」ということを中断し、「貸す」ことで企業の初期投資を減らし、企業を誘致し雇用を増やすということも考えています。非常に苦しい状況ですが、皆さんにご理解いただき歳出の削減に努め、健全財政になるよう知恵をしぼっています。ハード、ハードの計画は立てられませんが、皆さんのご意見をいただき、事業を選別して、ニーズの高いものから優先的に進めていきたいと考えていますので、いい案があればご提案いただきたいと思います。

Q (参加者) 市民からの税収のみを考えているようだが、会社経営の感覚が必要。久居市が青山高原の風力発電所でできた電力を中部電力に供給し、何らかの収入を得ている。こういったことにヒントを得て、例えば滝之原工業団地の空き地を利用して、市営の大駐車場を設置し、赤目滝、室生寺などへのシャトルバスを出すといったことを考えてはどうか。

A (市長) けして税収だけに頼っているのではなく、いろいろな知恵を出し、企業とも連携しながら画期的な施策を進めていけるよう準備をしているところです。

滝之原工業団地については、賃貸で1社決まりかけています。

シャトルバスのご提案をいただきましたが、そういったことについても勉強していきたいと思っています。

Q (参加者) 9月2日に枯草火災があり、早く消火にあたったからよかったが、冬場あるい

は春先であれば大変なことになるところだった。そこで自治会としては、県に対して桔梗西の駅からの県道整備を要望し、草刈をしていない地主に対して通知を出した。市からも通知をしているが、それでも草刈をしない地主に対しては罰則もない。罰則を設けた条例など、市のほうで考えてもらいたい。

A (総合企画室長) 罰則を設ける場合、検察庁との協議が必要になります。例えば何時の時点で、草がどのくらいの高さになれば罰則を適用するかといった基準、また他の刑法などの関係も含めて協議していかなければならず、技術的に難しいと言えます。また、いちいち告訴していけるかということを考えると、罰則を設けることは現実として難しい状況です。

Q (参加者) 比奈知地区のごみ処理場の問題について、現状を説明いただきたい。

A (市長) 今、棚上げにさせていただいていますが、開発公社が持っている土地であり、半径500m以内に何もないので、最適地だと思っています。

Q (参加者) 地区は白紙撤回を求めているのでは？

A (市長) 地区のかたは白紙撤回を求めています。

Q (参加者) 根回しが足りなかったのでは？

A (市長) 15地区ぐらいから、比奈知と西田原の2つにしぼり込んだ頃に、ある新聞社が薦原地区が有力だという記事を掲載しました。どなたがおっしゃったのかはわかりませんが、両方の地区から条件的な聞き取りをさせていただいている最中でしたので、どちらとも決めていないと議会で申し上げました。その後、いろんな条件を考えて土捨て場が最適だという判断をし、議会に諮らせていただいたところ絶対多数で承認いただきました。

Q (参加者) 比奈知はお金がいらなくて、薦原はお金がいるということか？

A (市長) お金がかかるということと、地権者のかたがいらっしゃるので、その買収にこれからかからなければならぬため、時間がかかるのではないかと思います。議会でも検討委員会を設置してはという意見もありますが、地域のかたが悪者になってはいけないので、行政の責任でやらせていただきたいと申し上げました。

Q (参加者) 東山に半分だけアスファルトを敷いてある道がある。いったい何の意味があるのか？ 山道を歩きたくて行くのに、アスファルトは無駄である。

A (市長) 全部アスファルトにしてほしいという要望もあります。

5. 閉会

パブリックコメントで、ご意見をお寄せいただきまようによろしく申し上げます。(司会)